

競技者注意事項

この大会は、2018年(財)日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により行う。

ただし、競技者の対する助力については、競技規則第144条を適用するが、本競技会においては4項(e)を適用しない。スタートについては競技規則162条5(C)を適用せず、昨年までのルールを適用する。競技規則162条5(a)(b)(c)に該当する不適切行為を行った競技者に対しては口頭で注意し、競技者全員にグリーンカードを示す。

1. 招集は、全て競技者係の指示に従うこと。

- ① 点呼終了時刻は、トラック競技は競技開始の25分前から開始し、15分前に終了する。フィールド競技は競技開始の30分前から開始し、20分前に終了とする。
- ② 招集に遅れた者の出場は認めない。
- ③ 点呼終了後、競技者は集合場所を離れてはいけない。移動はすべて競技者係の誘導によって行う。
- ④ 四種競技の点呼は最初の種目だけとし、二種目以降は各競技場所に集合(競技開始15分前)とする。
- ⑤ リレーのオーダー用紙は、その競技点呼終了時間1時間前までに大会本部(記録員)に提出すること。遅れたチームは棄権とみなす。なお一度提出したオーダーの変更は(ケガなどで競技不可能となった時以外)認められない。
※オーダー用紙は同封のものを使用すること。
- ⑥ 競技を棄権する場合は、競技者係に申し出ること。

2. 走路順・試技順

- ① プログラム記載通りとする。
- ② 四種競技の競技順は次の通りとする。
男子 110mH ⇒ 砲丸投 ⇒ 走高跳 ⇒ 400m
女子 100mH ⇒ 走高跳 ⇒ 砲丸投 ⇒ 200m

3. トラック競技

- ① 800mのスタートは男女ともセパレートとする。
- ② 800mにおいては出場選手が8名を超える場合、7レーンと2レーンに2名ずつ入る。
- ③ リレーのテイクオーバーゾーンを30mとする。(ブルーゾーンはなしとする。)

4. フィールド競技

- ① 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。
男子 (練習 1m15) 1m20~1m55 まで5cm 1m55 から3cm
女子 (練習 1m05) 1m10~1m35 まで5cm 1m35 から3cm
四種男 (練習 1m10) 1m15 から3cm
四種女 (練習 1m05) 1m05 から3cm
- ② 走幅跳のピットはA・Bピットで行う。
- ③ 3名以上いる場合、試技時間は審判が旗を振ってから30秒以内とする。(3名未満の場合は90秒以内とする)

5. ナンバーカードについて

- ① 胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技の出場者は胸部または背部のみでよい。(走幅跳、走高跳)。また、トラック競技(リレー競技においては第4走)では、競技者係で腰ナンバーをもらいスタート前に右腰に着け、ゴール後に係に返還すること。
- ② ナンバーカードは競技終了後、番号順にそろえ、大会本部に返却すること。

6. 練習について

- ① 8時15分まで、本競技場での練習を認める。
- ② ウォーミングアップは競技に支障にならないようバックストレートと外側トラックを利用のこと。競技場外のグラウンド(旧末広中学校のグラウンド)などの施設を使用しないこと。
- ③ 競技場内には練習用砲丸・バトン以外の私物は持ち込まない。
- ④ 逆走は大変危険なので絶対に行わない。

7. スパイクシューズについて

本競技場は全天候性ウレタン舗装ですのでトラック競技は9mm以内、走高跳は12mm以下の専用ピンを使用する。

8. その他

- ① ランニングパンツの下からはみ出るようなスパッツの使用を禁止する。ただし、はみ出ていない場合やハーフパンツやスパッツだけを着用することは許される。(注意を受けた場合についてはきちんとした対応をとること)
- ② 不正スタートについては1発失格を適用する。1回目から不正スタートした競技者は失格とする。ただし、ピク付き動作は、グリーンカードを示し、注意を与える。男女四種競技においては各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は全て失格とする。
- ③ 表彰は行わない。各種目6位以内(リレーは3位まで)の入賞者は、賞状を学校ごとに本部2階へ受け取りに来ること。